



手代木せつ子 議員

1、廃棄物処理業務についてを問う

**Q** ①鳴瀬一般廃棄物最終処分場（鳴瀬処分場）に搬入された粗大ごみの中で、再利用可能な物は分別破砕せず、リサイクルプラザを作り展示し、市民の皆様により報告等で知らせ、希望者に提供してはどうか。  
②高齢化に向けた家庭ごみの出し方については、担当課のみの問題ではな

**A** 市長 ①鳴瀬処分場に搬入された粗大ごみのうち約47%がリサイクルされている。しかしながら今後は、循環型社会を創る上で重要な「もったいない精神」を生かし、ごみの埋立量を減らす意味におい



▲搬入された粗大ごみ

**Q** 廃棄物処理業務についてを問う  
**A** 市民サイドに立ち検討していく

**Q** ①鳴瀬一般廃棄物最終処分場（鳴瀬処分場）に搬入された粗大ごみの中で、再利用可能な物は分別破砕せず、リサイクルプラザを作り展示し、市民の皆様により報告等で知らせ、希望者に提供してはどうか。

く、福祉課とも連携し取り組むべきと思うが、市長の所見を伺う。

**A** 市長 ①鳴瀬処分場に搬入された粗大ごみのうち約47%がリサイクルされている。

しかしながら今後は、循環型社会を創る上で重要な「もったいない精神」を生かし、ごみの埋立量を減らす意味におい



▲平成 29 年度東松島市消防演習

1、消防団員の確保について  
2、被災構造物の撤去推進について



熊谷 昌崇 議員

**Q** 消防団員の確保について  
**A** 市職員の査定に考慮する

**Q** 本来、消防団員は市職員が加入しても、何ら問題はない。全国の自治体の職員が加入している例は多数ある。地震や昨今多く見受けられる豪雨等の被害に対し、市職員は3号配備等で参集ということも考えられるが、それ以外の事例、火災現場での交通誘導や火が完全に鎮火したのか

を確認する現場の監視やマンホールの点検等、一般の市民が休日に活動している作業がある。これらの作業は十分、市職員でも可能な作業であり、地域の消防団に入り活動すれば、地域住民ともコミュニケーションがとれるため、有用なことと思うが、市職員の積極的な参加を促すべきと思うが

**A** 市長 地方公務員が消防団員として活動している一部の自治体の実態は承知しており、東松島市においても、兼業従事の許可を受ければ入団は可能だが、大震災後の業務が多忙であるため、現在は難しいが、一段落後は、職員の査定の一つとし、参加を促す。